



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薮町長屋1963
（株）ホリジョン内 ☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006
E-mail 3ctsumugi@gmail.com
<https://3ctsumugi.wixsite.com/top-page/>



今年も早いもので、あと数日で年が変わります。この組織も4月に発足し、会員のみなさまの交流の中から困りごとを表出し、そしてその解決にお手伝いができる方とのマッチングを行っていく予定でした。

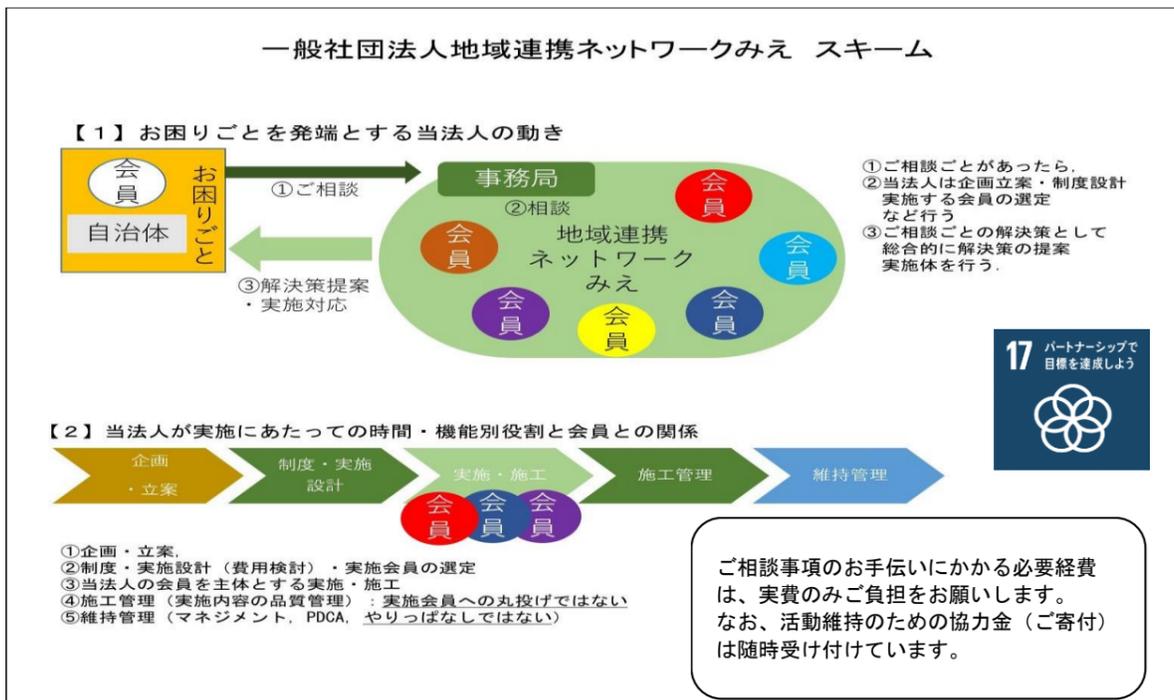
しかしながらコロナ禍という未曾有の状況下で会員のみなさん方の情報交流ならびにお手伝いは極めて限定的なものとなってしまいました。

まだまだ厳しい環境にあります。これからは相互扶助の活動によって、持続可能な暮らしやすい社会づくりを目指していきたいと思っております。

なお、当組織は内閣府の地域未来構想20オープンラボに登録され、また地方創生SDGsプラットフォーム会員となっております。

引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

代表理事 川井 勝



地域未来構想20

オープンラボ登録分野

教育

地域交通体系

ハートフル

強い農林水産業

地域商社・観光地域づくり法人

*** 当会員 (株)ゼロ 松山社長のご投稿 ***

■ コロナ禍がもたらした暮らしの現場の変化

私どもは今年創刊42年目を迎える三重のタウン情報誌「月刊 Simple」を編集発行する株式会社ゼロと申します。

その間における街や人の動き、そして商いの現場を見せていただきながら、読者の暮らしのお役に立てる情報、広告主の売り上げに結び付く企画や広告の制作、コンサルティング、そしてイベントの企画制作など、多岐にわたって事業展開してまいりました。

その経験のなかで言えることは、今、過去に例のない社会情勢に直面しています。

新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、誰もが経験したことのない未知の状況に置かれ、やがて一年の月日が流れていきました。

人々は生活様式の変化を余儀なくされたことで、これまでの生き方、働き方、そして家族との繋がりや社会との繋がりなど、今まで「当たり前」としていたものを根本から見直さざるを得なくなりました。

しかし、暮らしの現場、仕事の現場、購買の現場、それぞれがこの状況にいかに対処していけばよいのか、まだ手探りといってもいいかもしれません。

ただ、一つ言えることは、感染防止のため、不要不急の外出を控えることで、人は自分と向き合う時間が多くなったのは確かです。

その結果、人は自分にとって「本当に必要なものは何か」、「必ずしも必要ではなかったものは何か」。今まで「当たり前」だと思っていて、見えなかった、見ていなかったモノやコトに気付きはじめたようです。

衣食住をはじめ遊、楽、学など日々の生活のなかで消費してきたモノやコト、そしていろんなサービスに対して判断してきた評価の基準を見直しているのではないのでしょうか。

人は、何に価値を置いて暮らししていくのか、改めて問いながら、それぞれ自分らしい新しい暮らし方を考えはじめています。

商いの現場にいる方々は、そこに視点を置いて、新しい生活様式に適合する、新しい商い様式を、早急に確立しなければ取り残されてしまう、といっても過言ではないでしょう。

新型コロナウイルスがもたらした負の局面は、私たちの暮らしに多大な影響を及ぼしていますが、臆することなく感染予防に徹し、時代の転換点に今自分自身も存在していることを認識しながら暮らし、働き、商うことが次代をつくりあげていくのだと考えます。



■ より良い事業成果を獲得するため

「強いものが生き残るのではなく、時代に適合するものが生き残る」とダーウィンは言いました。今まさにこのコロナ禍の局面を乗り越えていくために、具体的にどう対処していくのか。

その答えは、時代に適合する「売れる仕組み」を生み出すことではないでしょうか。私どもは、42年に亘るタウン情報誌の企画編集で蓄積してきた知識と経験を基に、それぞれの商いの現場における人々の生活者視点に立って「モノを売る努力」から「選んでもらう仕組みづくり」や「売れるモノづくり」、「売れる方法づくり」へのソフトチェンジを6つの軸でプロデュースさせていただきます。

「売る」から「売れる」へ。「売れる仕組みづくり」のお手伝いさせていただきます。

